

第1学年英語科学習指導案

1 単元名「 What's this? ～6年生に粕小スペシャルクイズを出そう!～」

2 単元について

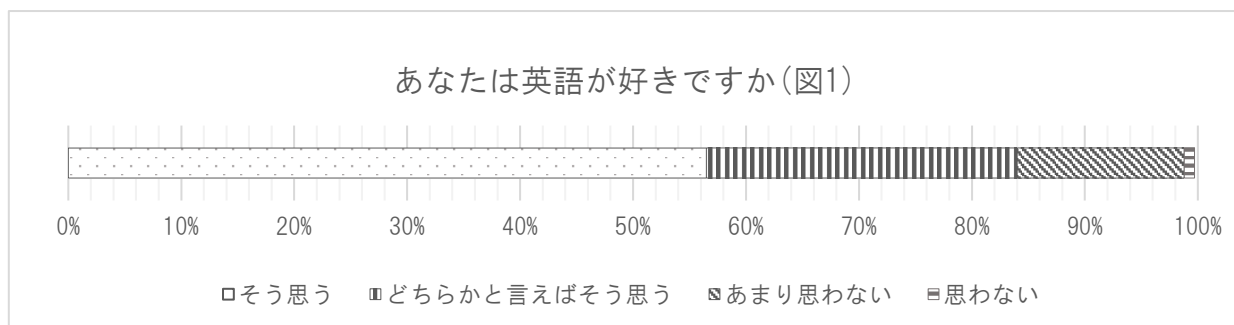
本単元「 What's this? ～6年生に粕小スペシャルクイズを出そう!～」は、様々なクイズを楽しんだり、クイズを出し合ったりする活動を通して、身の回りにある物の言い方やある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことをねらいとしている。

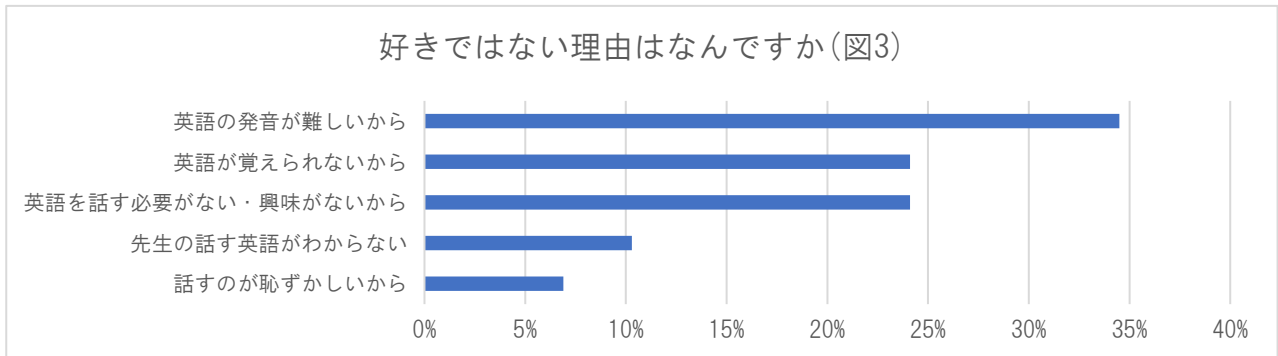
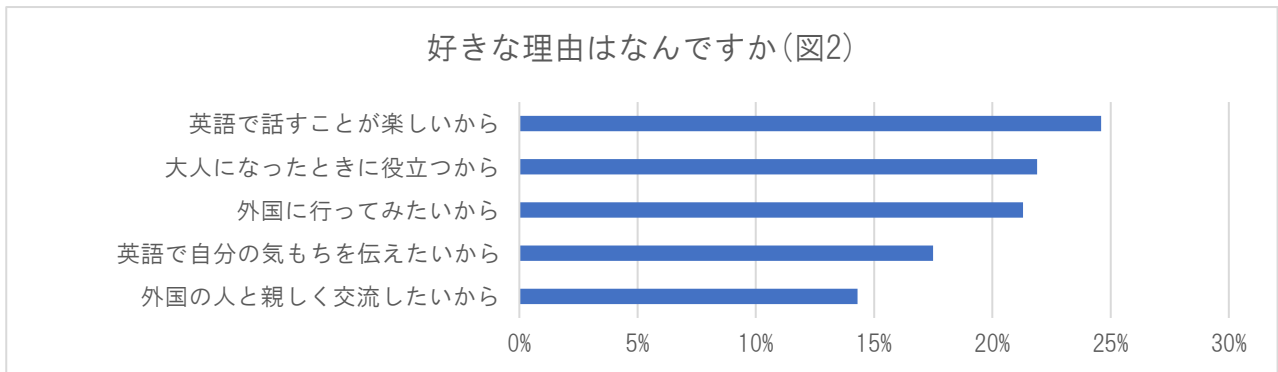
クイズは子どもたちにとって興味、関心を引くものである。その意欲を継続させ、クイズを出すために必要な語彙を増やし、相手とやり取りをすることの楽しさが味わえるように努めていく。本単元のゴールでは、6年生に向けて粕小に関するクイズの出題をする活動を設定している。お世話になった6年生に楽しんでもらうために、クイズを出すという相手や目的を意識させて取り組ませるようにしたい。また、ゴールに向かうにあたり、野菜や食べ物に関するシルエット、ジェスチャー、音などさまざまなクイズを経験することで、クイズを出題する際のヒントの幅を広げたり、単元のゴールに向けて「こんなクイズを出したい」という意欲を高めたりしていきたい。

3 児童の実態について

本学年の児童は、英語の歌を歌ったり、歌いながらリズムに合わせて体を動かしたり、ゲームを楽しんだりしながら、英語活動を楽しんでいる。4月当初は、日常生活ではあまり触れてこなかった英語に不安や抵抗があった児童も、学習を重ねる度に、外国語を用いてコミュニケーションをとる楽しさを実感し、少しずつコミュニケーションをとることができるようになってきている。

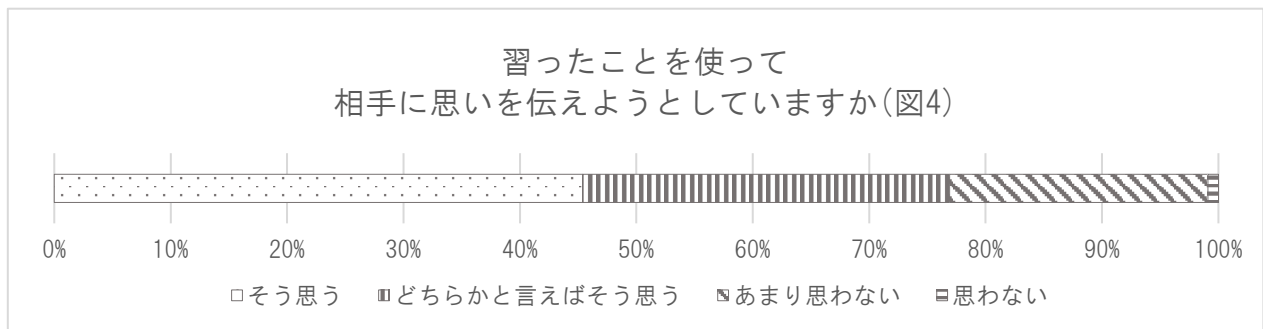
意識調査（令和5年7月実施 n=108）から見る児童の実態は以下のとおりである。





意識調査の結果から8割以上の児童が、「英語が好き」「どちらかと言えば好き」と答えている。(図1) 英語が好きな理由として、「英語で話すことが楽しいから」「大人になったときに役立つから」「外国に行ってみたくから」と、回答している児童が多く、英語を積極的に日常生活の中で使いたいという英語活動への興味・関心や意欲の高さが分かる。(図2)

一方、英語が好きでない理由として、「英語の発音が難しいから」「英語が覚えられないから」「英語を話す必要がない・興味がないから」と回答している児童がいることから、普段親しみの少ない英語に苦手意識を持っている児童もいることが分かった。(図3)



また、「習ったことを使って相手に思いを伝えようとする」児童の割合が高いことが分かる。(図4) 新しく学習したことを使ってみようという意欲の高さがうかがえる。

以上のことから、英語の学習は楽しいと感じ、英語を使えるようになりたいという意欲がある児童が多いことが分かる。しかし、実際のやり取りの場面では、何と云ったらいいのかわからず戸惑ったり、英語を使うことに難しさを感じたりしている児童もいる。入学して間もない1年生にとって、英語で話すことにまだ親しみがあまりないため、基本的な表現や語彙を楽しみながら繰り返し扱い、慣れ親しませる指導の工夫をしていきたい。

4 研究主題、仮説及び手立て

(1) 研究主題

自ら学び、進んで考えや気持ちを伝え合うことができる児童の育成

(2) 研究仮説

「言語活動を通して」コミュニケーションを図る指導と、目標と対応した評価の一体化を実現することで考えや気持ちを伝え合う力を育むことができ、自ら学ぶことができる児童を育成することができるであろう。

(3) 手立て

手立て1 「言語活動を通して」資質・能力を育成する指導の工夫

- ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定
- ②効果的な Small Talk の工夫
- ③言語活動を通して「聞く」「話す」「読む」「書く」指導の工夫
- ④児童に意欲と自信をもたせる教師の働きかけの工夫
- ⑤それぞれの学習場面に応じて効果的な ICT 活用

手立て2 目標と指導と評価の一体化を図る工夫

- ①目標に対応した評価規準の明確化
- ②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫
- ③児童の学習改善、教師の指導改善に生かすことができる ICT 活用

(4) 本単元での重点取組

1-①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定

本単元は、「お世話になった6年生にスペシャル粕小クイズを出そう」というゴール設定をした。生活科の学習と関連させ、「6年生ありがとう大作戦！」の取り組みの一つとして、お世話になった6年生を楽しませるための活動として行う。親しみのある6年生に楽しんでもらうためには、何をどのように伝えたらよいか、どんなヒントが必要かを考えながら、児童が主体的に活動に参加できると考える。そのため、クイズ作りをする際には、回答者が正解できるようなヒントを考えることを意識させて行っていく。

1-③言語活動を通して「聞く」「話す」「読む」「書く」指導の工夫

本単元では、ゴールの「スペシャル粕小クイズ」に必要なクイズやヒントの出し方などを学ぶために野菜、食べ物に関するクイズ大会を行う。低学年は、学習に慣れる段階であるため、言語活動を通して繰り返し聞く時間を確保していき、耳から英語を身につけさせていきたい。そして、何度も繰り返し聞かせることで、「言ってみたい」「言えた」という気持ちを味わわせたい。また、児童の実態に応じて、個人やペアなどの活動形態を工夫する。児童同士が互いにアドバイスやサポートできる態勢を整えることで、抵抗なく活動に取り組めると考えた。「質問する」ことやそれに「答える」という経験はまだ浅いため、相手を替えながら繰り返しやり取りさせ、聞き慣れたり言い慣れたりできる機会を十分に確保したい。

2-②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫

児童は、文章で自分のことを振り返る経験にまだ乏しいため、その時間にできるようになったことや分かったことなどについて、「This week's point」や「Today's point」と照らし合わせながらジェスチャーを用いて簡易的に振り返りを行う。単元の最後には、振り返りカードに色を塗ることで視覚的に目標達成度を捉え、児童の自信につながるようにしていく。

5 単元の目標

お世話になった6年生に粕小What's this?クイズを出すために、野菜や食べ物、身の回りのものについて、先生や友達が作ったクイズを聞こうとする。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 第3時【主】 第6時【知・技】 第9時【思】	野菜や食べ物など身の回りの物について、What's this?やIt's～などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	粕小What's this?クイズをするために、相手に伝わるよう工夫しながら、身の回りの物について、話を聞いて意味が分かっている。	粕小What's this?クイズをするために、相手に伝わるよう工夫しながら、身の回りの物について、話を聞いて意味を分かろうとしている。

7 単元計画（9時間扱い 15分×18回 45分×3回）

		内容 C:Child A:ALT H:HRT	評価規準
第1時	E-タイム 1/18	○Song「Vegetable Song」 ・動画でアニメーションと共に聞かせる。 ・繰り返し聞かせて慣れ親しませる。 ○「What's this?クイズ」 ・歌に出てくる以外の(eggplant, greenpepper, lettuce, corn)英語での言い方を確認する(カラーズームバージョンで行う)。 ○Chant「What's this?」 ・イラスト共に繰り返し聞かせて慣れ親しませる。	○単元の導入期のため、記録に残す評価は行わない。
	E-タイム 2/18	○Song「Vegetable Song」 ○Chantでチョイス ・「It's～」の部分の野菜を教師がランダムに発音し、児童に12枚の野菜カードから選ばせる。	
	E-タイム 3/18	○Chant ○「What's this?クイズ」 ・白黒ズームバージョンで行い、ヒントに色とジェスチャーがあると答えが分かりやすいことに気づかせる。 ○「ヒントゲーム」 ・児童を一人選び前に立たせる→教師が他の児童に野菜のカードを見せる(例えば、トマトのカードを送る)→他の児童は、選ばれた児童に「What's this?」と言い、正解できるようにトマ	

		トに関するヒントを出す。	
第 2 時	E-タイム 4/18	○Song 「Vegetable Song」 「Colors Song」 ○Chant 「What's this?」 ・野菜と野菜の色をおさえる。 (かぼちゃ→Green and orange など) ○ 「What's this? ナンバークイズ」 ・児童に色とナンバーを言わせ (Pink, 4 など)、それを消してい きながら答えを見せていく。	○記録に残す評価 は行わない。
	E-タイム 5/18	○Song 「Vegetable Song」 ○クイズづくり ・方法→白黒拡大 ヒント→色、形、その野菜に関連するジェスチャーなど ・2人1組で、問題は2問作成する。ヒントを一緒に考えたり、 表現が分からなくなったりした時などに助け合えたりできる ようにする。	
	E-タイム 6/18	○Chant 「What's this?」 ○クイズ練習	
第 3 時	EL 1/3	○Greeting ○Warm up Song 「Vegetables Song」 ○Small Talk 「ALTの好きな野菜 What's this?クイズ」 ・Activityで児童が行う「野菜 What's this?クイズ」と同様に行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A: Hello everyone. Let's quiz together. I like this vegetable. What's this? (白黒ズーム) H: Hint, please. A: OK. Hint 1, red. Hint 2, ジェスチャーをする。 What's this? C: It's a tomato. A: That's right!</div> ○Activity① 「粕小の先生の好きな野菜 What's this?クイズ」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A: What's this? (白黒ズーム) C: Hint, please. A: OK. Hint 1, green. Hint 2, ジェスチャーをする。 What's this? C: It a lettuce. A: That's right!</div> ○Activity② 「HRTの好きな野菜ヒントゲーム」 ・第1時E-タイム③の「What's this?ゲーム」と同じ要領で行う。 HRTの好きなかぼちゃのカードを全員に見せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">H: Sonia sensei, next time, quiz ok? A: Sure. H: This is my No.1 vegetable. H&C: What's this?(白黒ズーム) A: Hint, please. C: Green. What's this?</div>	○記録に残す評価 は行わない。

		<p>A : It's a green pepper. H&C : Sorry, No.</p> <p>A : Hint, please. C : ジェスチャーをする。What's this?</p> <p>A : It's a broccoli. H&C : That's right!</p> <p>○Today's point 「野菜 What's this? クイズ大会」をしよう</p> <p>○Activity③「野菜 What's this? クイズ大会」 ・質問者と解答者を分ける。 ・移動の際は Chant を流し、黒板に掲示された野菜を発音する。 ・解答者が正解したら、達成カードに○を描く。</p> <p>○Story time ・ソニア先生による「やさいのおなか」の読み聞かせを行う。</p> <p>○Reflection(ALT : 良かったところを賞賛 HLT:評価に対して)</p> <p>○Ending ・単元のゴールを示す。</p>	
第 4 時	E-タイム 7/18	<p>○Song「Food song」 ・動画でアニメーションと共に聞かせる。 ・繰り返し聞かせて慣れ親しませる。</p> <p>○「What's this?クイズ」 ・歌に出てくる以外の食べ物 (curry and rice, omelet, spaghetti, friedrice, steak, french-fries, soup, hot dog, bread) の英語での言い方をおさえる (カラーズームバージョンで行う)。</p> <p>○Chant「What's this?」</p>	○記録に残す評価は行わない。
	E-タイム 8/18	<p>○Song「Food song」</p> <p>○Chant でチョイス ・「It's〜。」の部分の野菜を教師がランダムに発音し、児童に17枚の食べ物カードから選ばせる。</p>	
	E-タイム 9/18	<p>○Chant</p> <p>○「What's this?クイズ」 ・白黒ズームバージョンで行い、ヒントに「温度(hot/cold)」、「料理に使われている野菜(食材)」があると答えが分かりやすいことに気づかせる。</p> <p>○「ヒントゲーム」 ・児童を一人選び前に立たせる→教師が他の児童に料理のカードを見せる(例えば、カレーライスのカードを送る)→他の児童は、選ばれた児童に「What's this?」と言い、正解できるようにカレーライスに関するヒントを出す。</p>	



第 5 時	E-タイム 10/18	○Song 「Food song」 「Vegetables Song」 ○Chant 「What's this?」 ・①bread, rice, meat ②cheese, steak, pizza ○「What's this?クイズ 推理ゲーム」 ・いくつかの料理と野菜を提示し、それに関するヒントを与え、 答えを考える。	○記録に残す評価 は行わない。
	E-タイム 11/18	○Song 「Food song」 「Vegetables Song」 ○クイズづくり ・方法→白黒拡大 ヒント→色、料理に使われている野菜、温度など ・2人1組で、問題は2問作成する。ヒントを一緒に考えたり、 表現が分からなくなった時などに助け合えたりできるように する。	
	E-タイム 12/18	○Chant 「What's this?」 ○クイズ練習	
第 6 時	EL 2/3 (本時)	※詳細は本時の展開 ○Greeting ○Warm up Song 「Food Song」 ○Small Talk 「ALTの好きな食べ物 What's this?クイズ」 ○Activity①「粕小の先生の好きな食べ物 What's this?クイズ」 ○Activity②「HRTの好きな食べ物ヒントゲーム」 ・第4時E-タイム③の「What's this?ゲーム」と同じ要領で行う。 ○Today's point 「食べ物 What's this?クイズ大会」をしよう ○Activity③「食べ物 What's this?クイズ大会」 ・グループに分かれ、クイズを出す。	【知・技】 野菜や食べ物など 身の回りにある物 について What's this?や It's～な どの表現を聞くこ とに慣れ親しんで いる。
第 7 時	E-タイム 13/18	○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」 ○Chant 「What's this?」 ・形 (triangle, circle, square) を入れて歌う。 ○「文房具 What's this?クイズ」 ・○○に見えるものクイズ (ペンに見えそうなはさみなど) ・文房具に関する語彙は、今回は取り扱わないため、答えは「It's はさみ.」など日本語で答えさせる。	○記録に残す評価 は行わない。
	E-タイム 14/18	○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」 ○Chant 「What's this?」 ○「文房具 What's this?クイズ」 ・タブレットに絵を描く、大型モニターに掲示する、実物を見せ	

		<p>るなどの方法で行う。</p> <p>○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○クイズ準備 ・生活科の学校探検 2 で決めた学校にあるものの英語での言い方を知り、Chant に合わせて歌う。</p>	
第 8 時	E-タイム 15/18	<p>○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○クイズ準備 ・生活科の学校探検 2 で決めた学校にあるものの英語での言い方を知り、Chant に合わせて歌う。</p>	○記録に残す評価は行わない。
	E-タイム 16/18	<p>○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○クイズ作り (ヒント) ・ヒントは、色、形、数、野菜、ジェスチャーなど既習したことが活かせるようにする。</p>	
	E-タイム 17/18	<p>○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○クイズ作り (スライド作り) ・白黒拡大で出題する。</p>	
	E-タイム 18/18	<p>○Song 「Colors Song」 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○クイズ練習</p>	
第 9 時	EL 3/3	<p>○Greeting</p> <p>○Warm up Song 「I can make a circle.」</p> <p>○Chant 「What's this?」</p> <p>○Small Talk 「ALT の見つけた粕小にあるものクイズ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: Hello everyone. Let's quiz together. This is in the teacher's room. What's this? (白黒ズーム)</p> <p>H: Hint, please.</p> <p>A: OK. Hint 1, square. Hint 2, big. Hint 3, black. What's this?</p> <p>C: It's a パソコン.</p> <p>A: Sorry, No.</p> <p>H: Hint, please.</p> <p>A: OK. There are two in teacher's room. What's this?</p> <p>C: It's a コピー機.</p> <p>A: Tha's right!</p> </div> <p>・ヒントを言うごとに「What's this?」を言うようにする。</p> <p>○Today's point 「粕小 What's this?クイズ」を見合って、 アドバイスをし合おう。</p>	<p>【思・判・表】 粕小 What's this? クイズをするために、相手に伝わるよう工夫しながら、身の回りの物について、話を聞いて意味が分かっている。 〈観察〉</p> <p>【主】 粕小 What's this? クイズをするために、相手に伝わるよう工夫しながら、身の回りの物について、話を聞いて意味を分かろうとしている。 〈観察〉</p>

	<p>○Activity 「粕小 What's this?クイズ」 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに発表の練習の時間を取り、タブレットで撮影する。 ・班同士で見合い、アドバイスカードを記入し、渡し合う。 ・最後にもう一度タブレットで撮影する。(児童の変容を見取る) <p>○Story time 「Sonia's walking!」</p> <p>※ソニア先生が粕小を散歩しているときに会ったものを児童に予想させる。</p> <p>○Reflection(ALT:良かったところを賞賛 HRT:評価に対して)</p>	
--	--	--

8 本時の展開

①E-タイム

目標

「What's this?クイズ」「ヒントゲーム」を楽しみながら、What's this?/It's～の表現に慣れ親しむ。【聞く】

※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

準備物 タブレット・・・タブ、絵カード・・・絵カ

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
0.5'	○挨拶をする。	・挨拶をする。	
<p>H: Let's start our E-time. Please, stand up. Good morning everyone. C: Good morning Ms. Kato. H: How are you ? C: I'm fine. Thank you. How about you ? H: I'm good. Sit down, please.</p>			
2.0'	○Chant を発音する。	・教師が選んだ食べ物カードを「It's～」の部分に入れて発音させる。	
0.5'	○今週のめあてを確認する。		
<p><This week's point> 「食べ物 What's this?クイズ」をしよう！</p>			
12.5'	○「What's this?クイズ」をする。	・ズーム白黒バージョンで行い、ヒントに「温度 (hot/cold)」、「料理に使われている野菜(食材)」があると答えが分かりやすいことに気づかせる。	タブ
	○「ヒントゲーム」をする。	・児童を一人選び前に立たせる→教師が他の児童に料理のカードを見せる→他の児童は、選ばれた児童に	絵カ

		<p>「What's this?」と言ひ、正解できるようにヒントを出す。</p> <p>☆本時では、記録に残す評価は行わないが、食べ物の英語での言い方や What's this? を用いた表現を聞き取れているか、学習状況を把握する。〈行動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動を振り返る。 	
0.5'	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H: That's all for today. Please, stand up. Thank you very much.</p> <p>C: Thank you very much.</p> </div>			

②EータイムL (第6時)

目標

食べ物What's this?クイズを楽しみながら、What's this?/It's~の表現に慣れ親しむ。【聞く】

※本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

準備物 タブレット・・・タブ、絵カード・・・絵カ

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
1'	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・元気に挨拶を交わし、活動への意欲を高める。 	
<p>【会話例】</p> <p>H: Let's start today's English lesson. Stand up, please. Hello everyone.</p> <p>C: Hello, Mr.Suga.</p> <p>A: Hello, everyone.</p> <p>C: Hello, Sonia sensei.</p> <p>A: How are you?</p> <p>C: I'm fine. Thank you. How about you?</p> <p>A: I'm fine too. Thank you. How is the weather today?</p>		<p>C: It's ~today.</p> <p>A: What's the date today?</p> <p>C: It's December 11th.</p> <p>A: What day is it today?</p> <p>C: It's Monday.</p> <p>H: Sit down, please.</p>	
2'	○“Food song”を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーを交えながら、楽しんで歌えるようにする。 	タブ
3'	○HRT と ALT の会話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ALTの好きな食べ物 What's this?クイズ」を行い、本時の活動に繋げる。 <p>A: Hello everyone. Let's quiz together. I like this food. What's this? (白黒ズーム)</p> <p>H: Hint, please.</p> <p>A: OK. Hint 1, brown. Hint 2, ジェスチャーをする。 Hint 3, lettuce.</p> <p>H: It's a hamburger.</p>	絵カ

		<p>A : Sorry, No. H: Hint, please. A: Hint 4, sausage. H : (挙手させる) Answer is? C : It's a hot dog. A : That's right!</p>	
8'	<p>○Activity①をする。 「粕小の先生の好きな食べ物 What's this?クイズ」をする。</p>	<p>H: 粕小の先生の好きな食べ物クイズをします。 A : What's this? (白黒ズーム) C : Hint, please. A : OK. Hint 1, brown. Hint 2, ジェスチャーをする。 Hint 3, cabbage. What's this? C : It's yakisoba. A : That's right!</p> <p>・子どもたちの関わりのある4人の先生方のクイズを行い、「It's～」で解答する練習をする。</p>	タブ
4'	<p>○Activity②をする。 「HRTの好きな食べ物ヒントゲーム」をする。</p>	<p>H : Sonia sensei, It's your turn. Answer, please. A : Sure. H : This is my No.1 food. H&C : What's this? (白黒ズーム) A : Hint, please. C : Yellow. What's this? A : It's a tamagoyaki. H&C : Sorry, No. A : Hint, please. C : ジェスチャーをする。 What's this? A : It's an omelet. H&C : Sorry, No. A : Hint, please. C : It's rice. What's this? A : It's an omelet rice. H&C : That's right!</p> <p>・出題者になり「What's this?」で質問する練習をする。</p>	
1'	<p>○本時のめあてと学習の流れを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><Today's point> 食べ物 What's this?クイズ大会をしよう。</p> </div>	<p>H : Let's read together.</p> <p>・クイズ大会を通して、意欲的に活動に取り組めるようにする。</p>	
22'	<p>○Activity③をする。 「食べ物 What's this?クイズ大会」をする。</p>	<p>H: ヒントと答え方を意識して、食べ物 What's this?クイズ大会をしてもらいたと思います。</p> <p>・タブレットを使ってクイズを出す。</p> <p>・HRT と ALT は言い淀んでいる児童の支援を行う。</p> <p>・Chant が流れたら、教師が提示した食べ物を入れて、歌う。そして、ペアを変える。</p> <p>・二人一組のペアで取り組む。</p>	タブ

3'	○振り返りを行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>C(AB) : Hi. C(CD) : Hi. C(AB) : What's this? C(CD) : Hint, please. C(AB) : Hint 1, ○○. Hint 2, ○○. What's this? C(CD) : It's ○○. C(AB) : That's right. / Sorry, No.</p> </div> <p>※解答者が正解したら、達成カードに○を書く。 ☆本時では、記録に残す評価は行わないが、食べ物や What's this?用いた表現を聞き取れているか、学習状 況を把握する。 〈行動観察〉</p> <p>・児童の学習の成果・課題を伝え、児童が充実感や次の 学習への意欲をもてるように声をかける。</p>	
1'	○挨拶をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【会話例】 H: That's all for today's English lesson. Stand up, please. Thank you very much. C: Thank you very much, Mr.Suga. Thank you very much, Sonia sensei.</p> </div>	